

2023年12月

会員各位

原稿募集：保険業とDX（特集）

保険学雑誌編集委員会

来年（2024年）12月に発刊予定の保険学雑誌では、以下のとおりの特集を予定しています。つきましては、会員諸氏からの投稿を募集しますので、奮って応募してください。

1. 企画理由

ようやくコロナ禍がおさまり、マスクなしの生活が常態となった。コロナ禍を振り返ると、日常生活の制約は大きいものであった。その中で、社会・経済を維持するための仕組みとしてDX（デジタル・トランスフォーメーション）化が進展してきた。例えば、コロナ禍が収まった後もICTが可能としたPCを介した会議はすっかり定着することとなった。地理的な制約を超え、リアルタイムで議論が白熱する光景は、今では珍しいものではなくなった。

このDXは、経済産業省によると以下の通りとなる。「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。」

この定義にあるように単なる「変化」ではなく、「変革」と強調されている点は重要であろう。変革した業務・組織が直面するリスクに対しては、従来の対応の延長にとどまらず、これまでと全く異なる新たなアプローチが必要となることがある。現代社会を支えるインフラである保険事業は、この新たなリスクに対応せざるをえない。当然、全く異なる保険種目も登場していくことになる。組織面からいえば、保険企業の業務自体も多大な影響をうけることから、これまで想定できない形態の保険企業の登場も考えられよう。

このように社会・経済に大きな変革をもたらさうるDXが保険業に与える影響を検討する必要は大いにあるといえる。そこで今回保険学雑誌『保険業とDX（特集号）』を計画することとした（2024年12月刊行予定）。

2. 募集内容

（1）募集する論文

保険業とDXに関する事象を分析・検討する学術論文

(2) 募集対象者

会員諸氏から広く執筆希望者を募ることとする。そのうえで、編集委員会が論題のバランス等を考慮しながら執筆依頼者を選定して、原稿の執筆を依頼する。したがって、論文の種類としては、「依頼論文」となる。

なお、「依頼論文」であるので、当学会の大会と部会における報告は、投稿要件ではない。ただし、執筆者が希望する場合には、当学会の大会と部会において、投稿内容について事前に発表報告することも可とする。

(3) 特集(号)全体の構成

いかなる論文執筆希望が会員諸氏から表明されるか不明であるので、会員諸氏からの執筆希望をとりまとめたうえで、全体の構成等を決定する予定である。

なお、当学会の大会と部会における報告にもとづく論文のうち保険業とDXに関するものも、本特集(号)に併せて掲載する可能性がある。

(4) 執筆要領

保険学雑誌編集方針(保険学雑誌や学会ウェブサイトに掲載)のとおり(刷り上り原則20頁以内、最大30頁)。

3. 刊行スケジュール

- (1) 執筆希望者募集：2023年12月(保険学雑誌および学会ウェブサイト)
- (2) 執筆希望者募集締め切り：2024年3月20日(水)
- (3) 執筆依頼者決定：2024年4月
- (4) 執筆依頼：2024年4月
- (5) 原稿締切：2024年8月末
- (6) 刊行：2024年12月

4. 応募要領

執筆を希望する会員は、次の事項を、2024年3月20日(水)までに、学会事務局に連絡ください。

なお、執筆を希望する場合であっても、原稿執筆を依頼しない場合があり得ることをお含み置きください(上記2(2)参照)。

- ① 氏名：
- ② 所属：
- ③ 役職：
- ④ テーマ(仮題)：

(締め切り) 2024年3月20日(水)

(連絡先) gakkai@jsis365.onmicrosoft.com